

※「宮崎県障がい者計画」内で掲載しているもの又は関連するものを抜粋して取りまとめたもの。  
当該計画の巻末の参考資料として添付予定。

資料 2 - 3

## 「宮崎県障がい者計画」改定に係る 障がい者アンケート調査の結果概要について

### 1 調査の目的と対象

この調査は、県内に居住する障がい者（児）の実態やニーズ等を把握し、「宮崎県障がい者計画」改定に当たっての基礎資料とすることを目的として実施しました。

調査対象は、県内に居住し、①身体障害者手帳の交付を受けている身体障がい者（児）、②療育手帳の交付を受けている知的障がい者（児）、③精神科病院を利用している精神障がい者（児）、④重症心身障がい者（児・保護者も含む）、⑤難病患者としました。

### 2 調査概要

この調査は、平成30年度に実施した障がい者アンケート調査との比較検討も視野に入れ、調査対象の選定及び調査項目については、基本的に同様のものをベースとしつつ、近年の障がい者施策の変化も視野に入れた設問の追加や一部設問の修正等の上、実施しました。

### 3 調査期間

令和5年7月21日～令和5年8月31日

### 4 調査方法

郵送又はインターネット、関係機関・団体からの配布及び聞き取り調査

### 5 調査対象及び回答数について

調査対象者	設問数	配布数	回答数	回収率
① 身体障がい者（児）	45問	2,000人	856人	42.8%
② 知的障がい者（児）	45問	1,000人	394人	39.4%
③ 精神障がい者（児）	46問	500人	413人	82.6%
④ 重症心身障がい者（児）	40問	200人	91人	45.5%
⑤ 難病患者	46問	400人	93人	23.3%
合計		4,100人	1,847人	45.0%

### 6 調査項目

- |            |        |             |         |
|------------|--------|-------------|---------|
| ① 基礎項目     | ② 日常生活 | ③ 社会生活      | ④ 雇用・就労 |
| ⑤ 社会参加等    | ⑥ 相談支援 | ⑦ 障がい福祉サービス |         |
| ⑧ おもいやり駐車場 | ⑨ その他  |             |         |

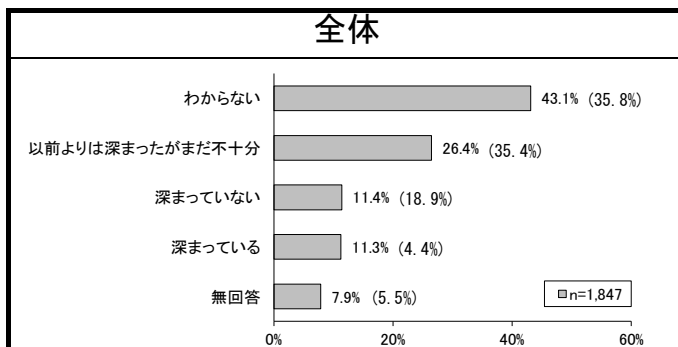
○ 県民の障がい者への理解と認識

問 あなた（本人）は、県民の障がい者への理解と認識は、深まっていると思いますか。

（1つを選んでください）

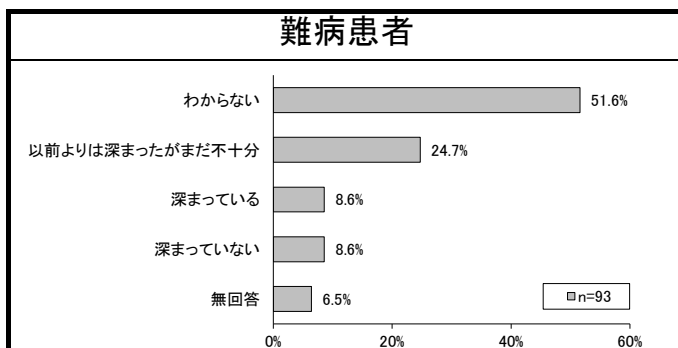
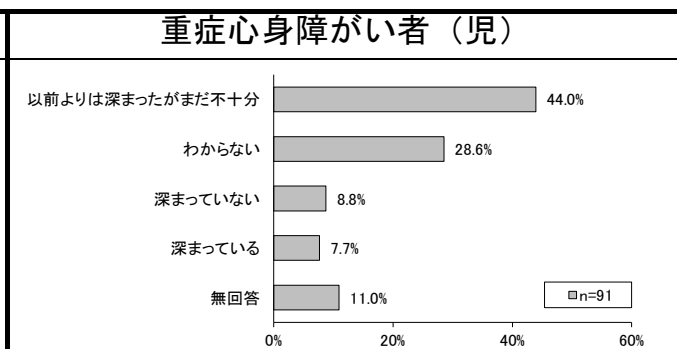
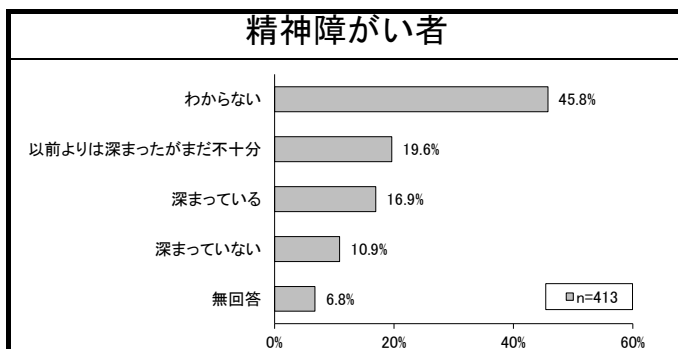
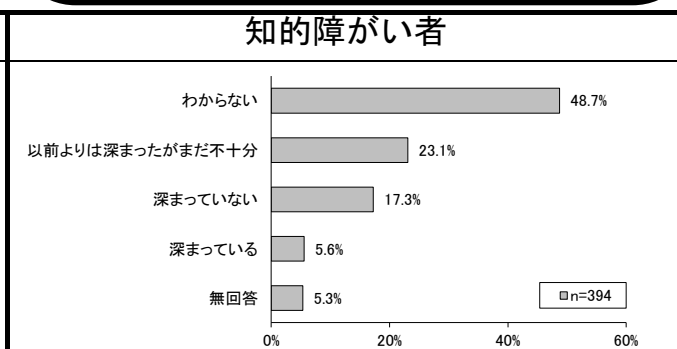
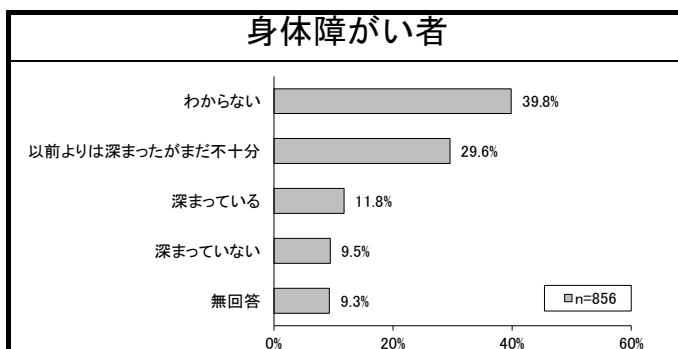
- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1. 深まっている  | 2. 以前よりは深まったがまだ不十分 |
| 3. 深まっていない | 4. わからない           |

《 回答概要 》※（ ）は前回調査（H30）の数値



○ 全体では、「わからない」の割合（43.1%）が最も高く、次が「以前よりは深まったがまだ不十分」（26.4%）となっている。

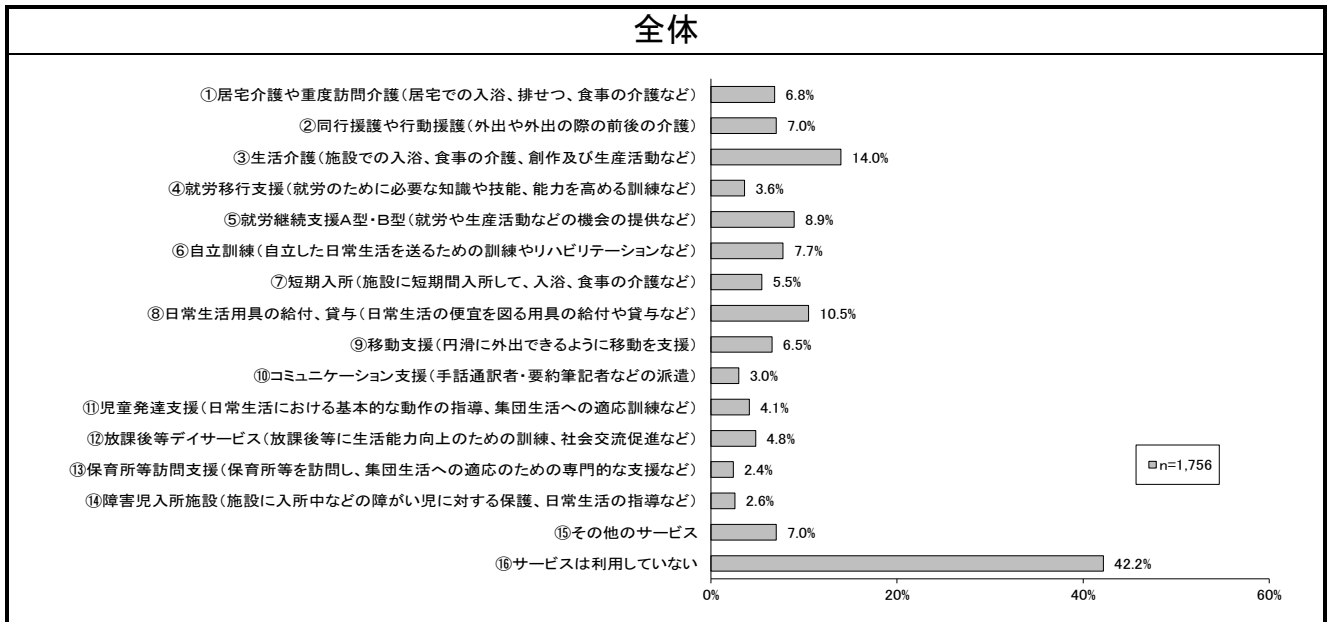
○ 重症心身障がい者（児）では、「以前よりは深まったがまだ不十分」の割合が最も高くなっている。



○ 福祉サービスの利用状況・満足度（※重症心身障がい者（児）を除く）

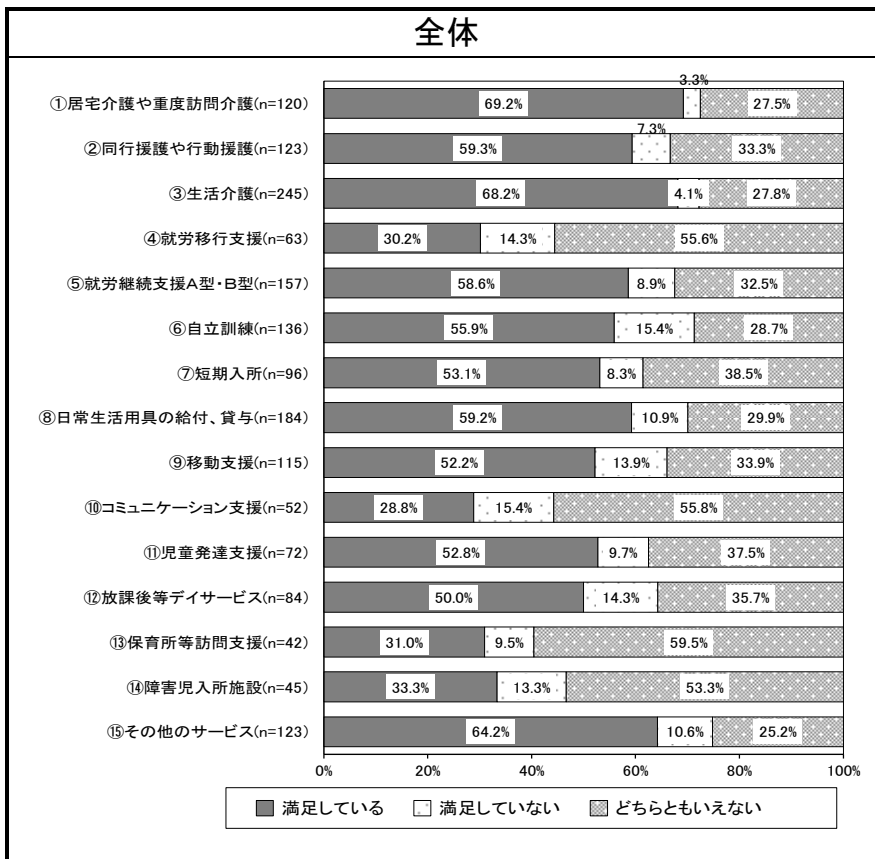
問 あなた（本人）は、現在、どのような障害福祉サービスを利用していますか。利用されているものをすべて選んでいただき、満足度についてあてはまるものを選んでください。

《 回答概要（利用状況） 》



○ 利用しているサービスでは、「③生活介護」の割合（14.0%）が最も高く、次が「⑧日常生活用具の給付、貸与」（10.5%）となっている。なお、「⑯サービスは利用していない」は、42.2%となっている。

《 回答概要（満足度） 》



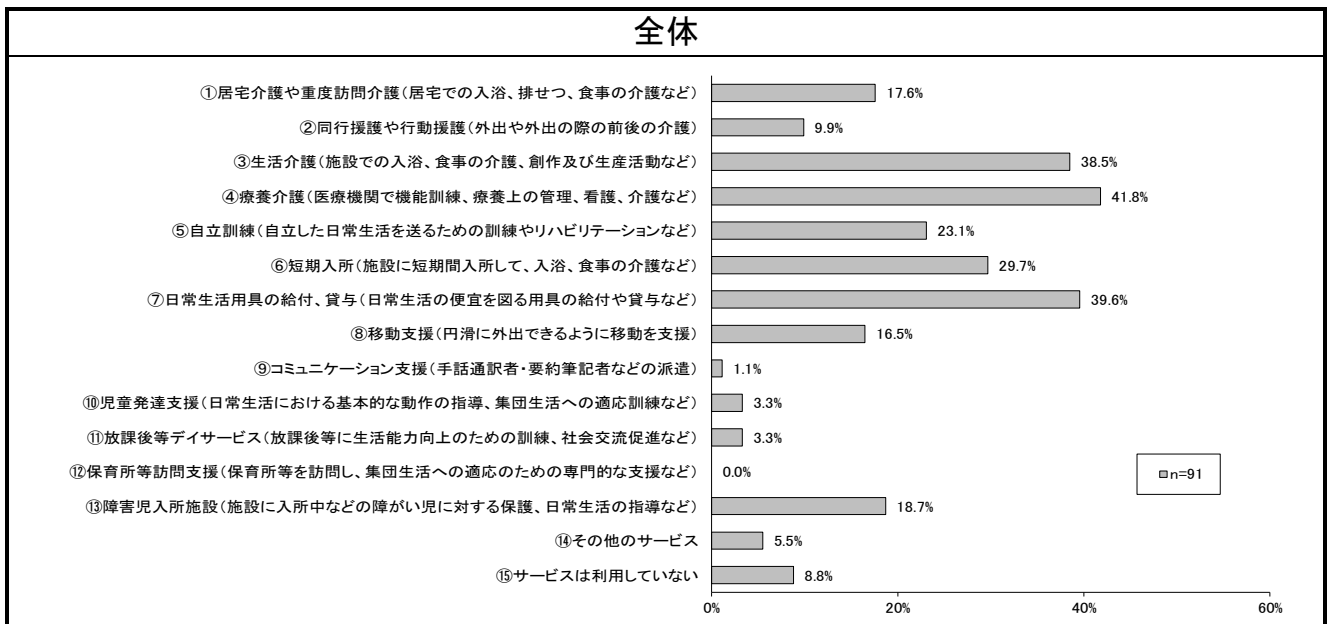
○ 「満足している」の割合が高い上位3つのサービスは、「①居宅介護や重度訪問介護」（69.2%）が最も高く、次に「③生活介護」（68.2%）、「⑮その他のサービス」（64.2%）となっている。

○ 一方、「満足していない」の割合が高い上位4つのサービスは、「⑥自立訓練」と「⑩コミュニケーション支援」（ともに15.4%）が最も高く、次が「④就労移行支援」と「⑫放課後等デイサービス」（ともに14.3%）となっている。

○ 福祉サービスの利用状況・満足度（※重症心身障がい者（児）のみ）

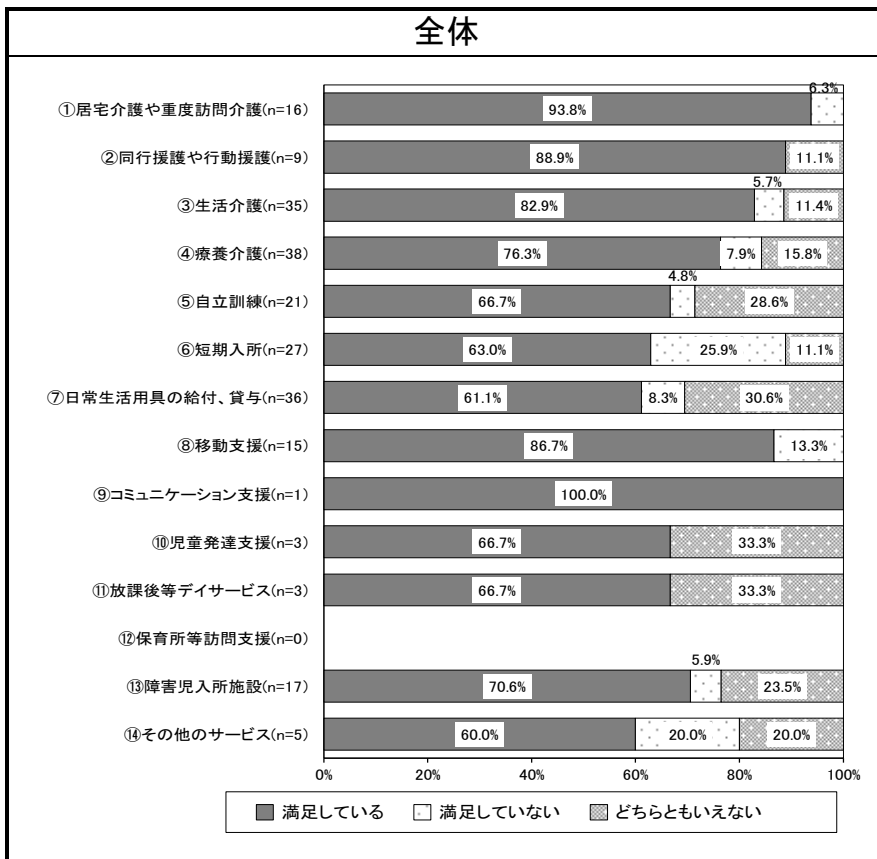
問 あなた（本人）は、現在、どのような障害福祉サービスを利用していますか。利用されているものをすべて選んでいただき、満足度についてあてはまるものを選んでください。

《 回答概要（利用状況） 》



○ 利用しているサービスでは、「④療養介護」の割合（41.8%）が最も高く、次に「⑦日常生活用具の給付、貸与」（39.6%）、「③生活介護」（38.5%）などが続いている。

《 回答概要（満足度） 》

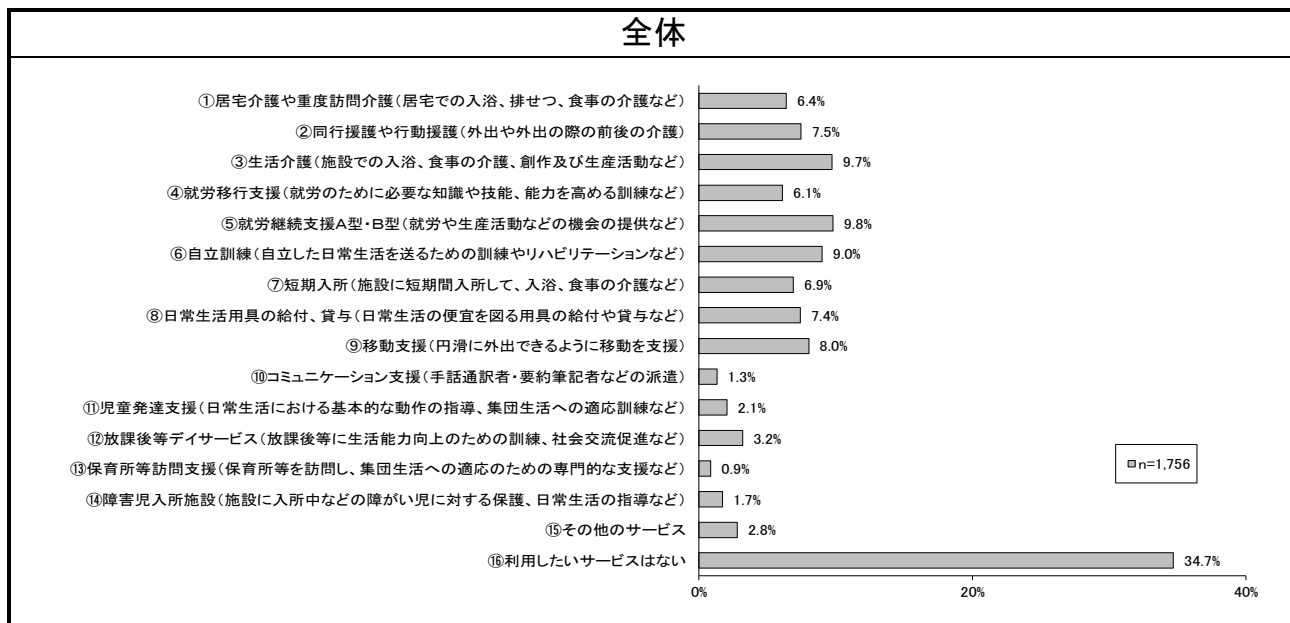


○ 「満足している」の割合が高い上位3サービスは、「⑨コミュニケーション支援」（100.0%、n=1）が最も高く、次に「①居宅介護や重度訪問介護」（93.8%）、「②同行援護や行動援護」（88.9%）となっている。

○ 一方、「満足していない」の割合が高い上位3サービスは、「⑥短期入所」（25.9%）が最も高く、次に「⑭その他のサービス」（20.0%）、「⑧移動支援」（13.3%）となっている。

- 利用したいサービス（※重症心身障がい者（児）を除く）  
 問 今後、どのような障害福祉サービスを利用したいですか。  
 （あてはまるものをすべて選んでください）

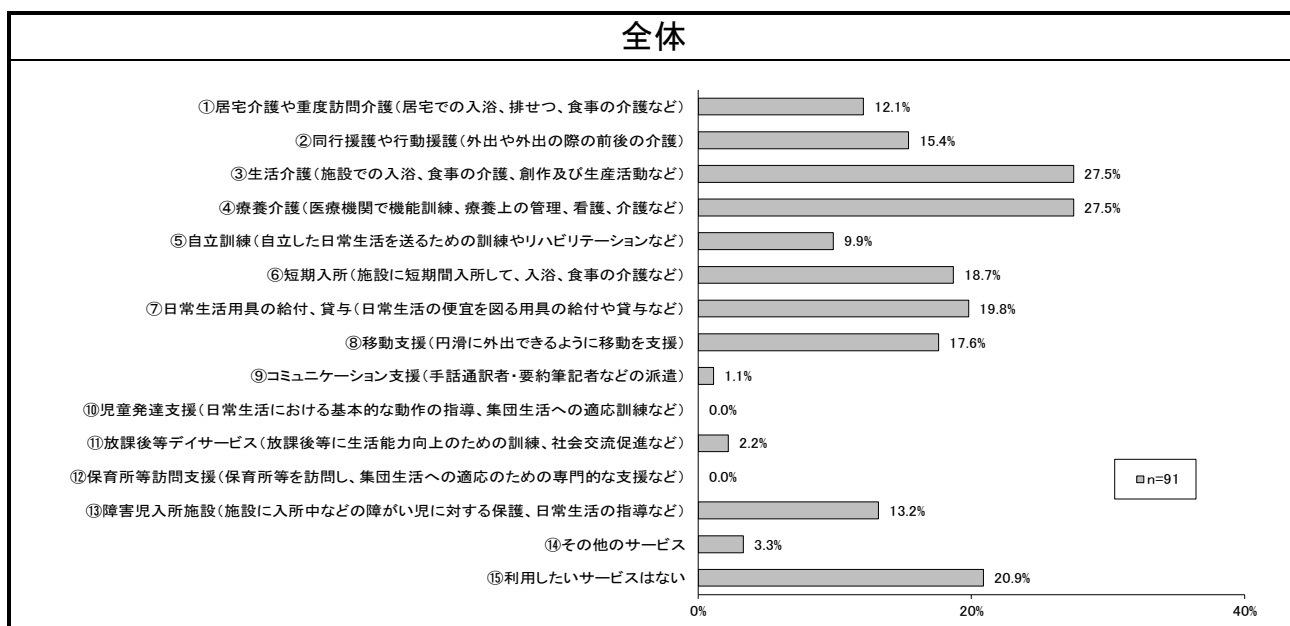
《 回答概要 》



- 今後利用したいサービスは、「⑤就労継続支援A型・B型」の割合(9.8%)が最も高く、次に「③生活介護」(9.7%)、「⑥自立訓練」(9.0%)などが続いている。なお、「⑩利用したいサービスはない」は、34.7%となっている。

- 利用したいサービス（※重症心身障がい者（児）のみ）  
 問 今後、どのような障害福祉サービスを利用したいですか。  
 （あてはまるものをすべて選んでください）

《 回答概要 》



- 今後利用したいサービスは、「③生活介護」と「④療養介護」の割合(ともに27.5%)が最も高く、次に「⑦日常生活用具の給付、貸与」(19.8%)、「⑥短期入所」(18.7%)などが続いている。なお、「⑮利用したいサービスはない」は、20.9%となっている。

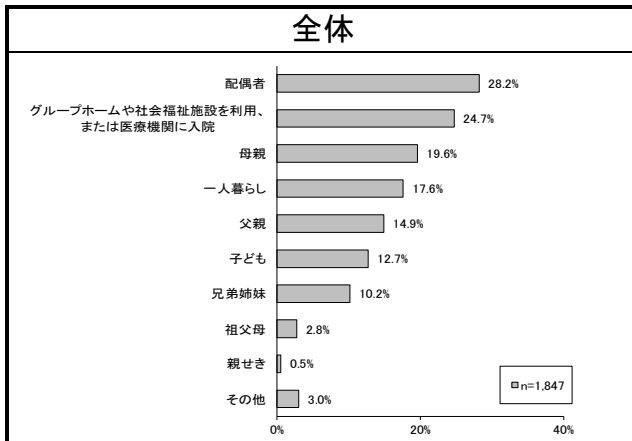
○ 現在の暮らし方

問 あなた（本人）は、どなたと一緒に暮らしていますか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

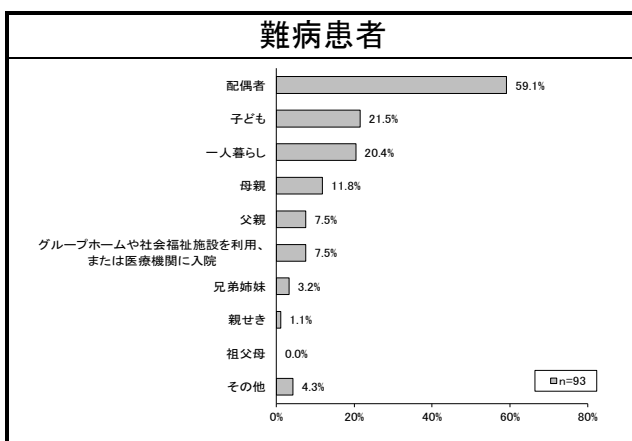
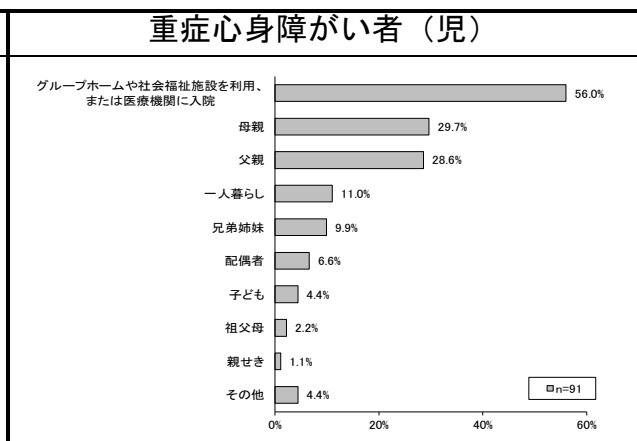
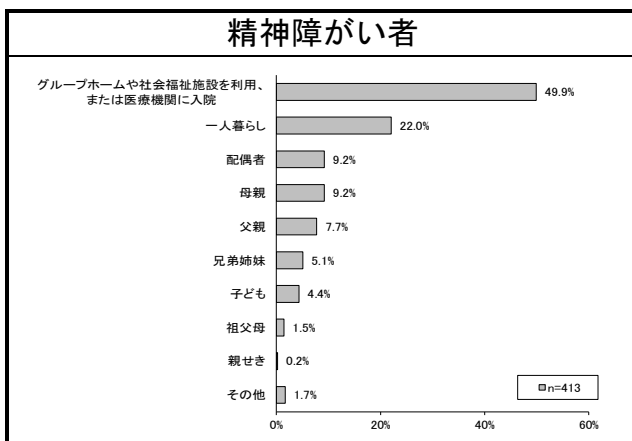
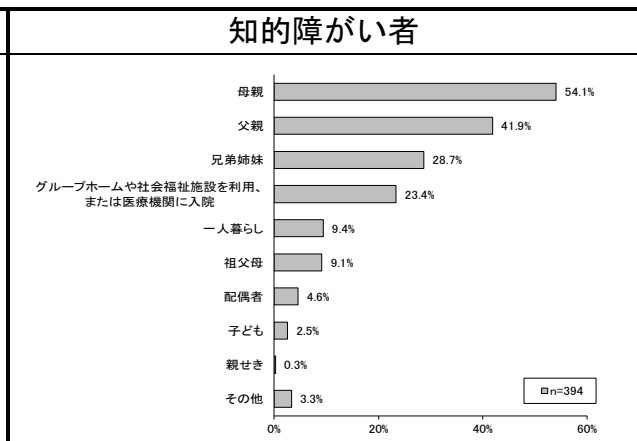
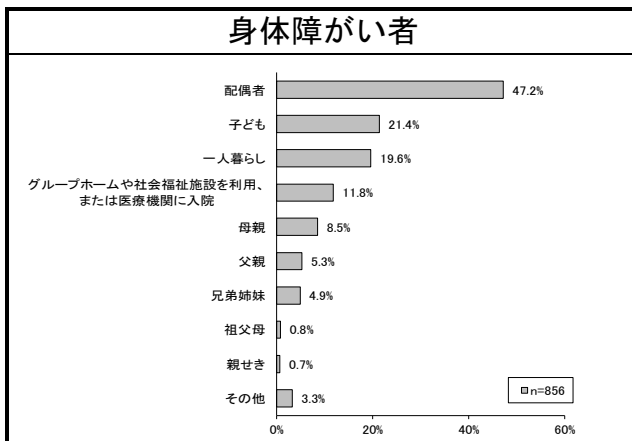
1. 一人暮らし	2. 配偶者	3. 父親	4. 母親
5. 子ども	6. 兄弟姉妹	7. 祖父母	8. 親せき
9. グループホームや社会福祉施設を利用、または医療機関に入院			10. その他

《 回答概要 》



○ 全体では、「配偶者」の割合（28.2%）が最も高く、次が「グループホームや社会福祉施設を利用、または医療機関に入院」（24.7%）となっている。

○ 身体障がい者、知的障がい者、難病患者では、家族との同居（「配偶者」と「母親」）が最も高いが、精神障がい者、重症心身障がい者（児）では「グループホームや社会福祉施設を利用、または医療機関に入院」が最も高くなっている。



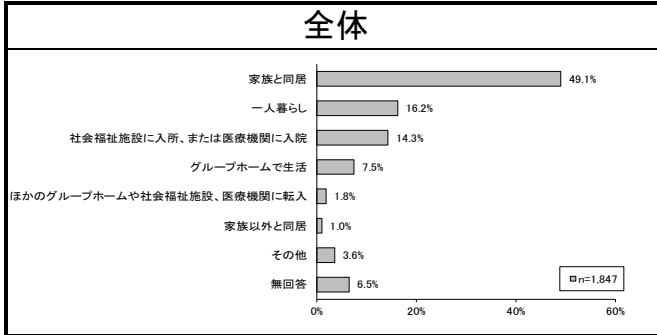
○ これからの暮らし方

問 これからの暮らし方として、あなた（本人）が望むのは次のどれですか。

（1つを選んでください）

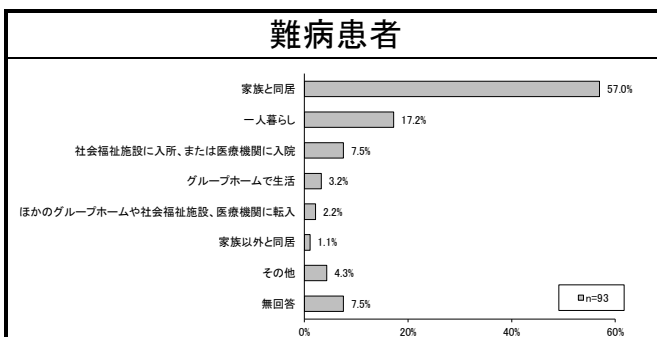
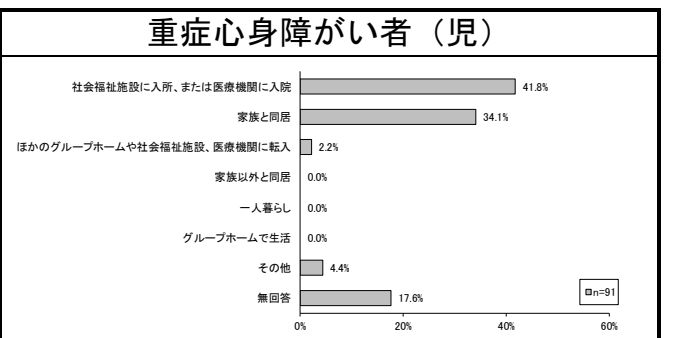
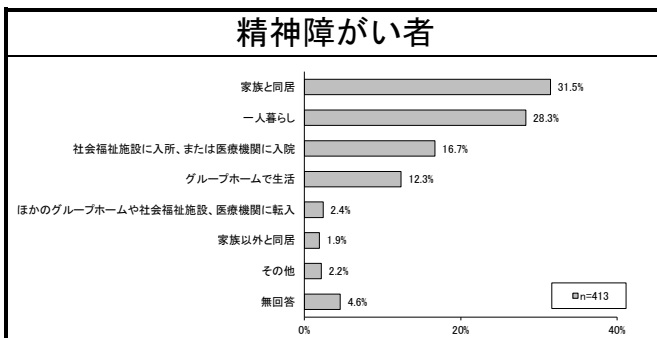
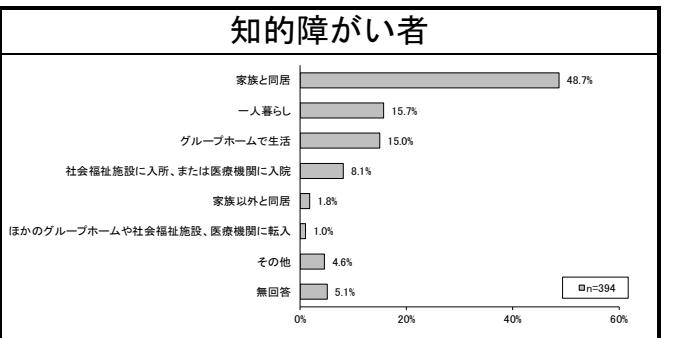
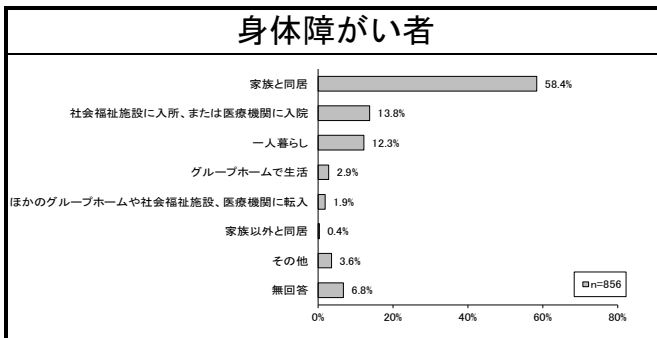
- |                         |                              |          |               |
|-------------------------|------------------------------|----------|---------------|
| 1. 家族と同居                | 2. 家族以外と同居                   | 3. 一人暮らし | 4. グループホームで生活 |
| 5. 社会福祉施設に入所、または医療機関に入院 | 6. ほかのグループホームや社会福祉施設、医療機関に転入 |          | 7. その他（ ）     |

《 回答概要 》



○ 「全体」では、「家族と同居」の割合（49.1%）が最も高くなっている。

○ 重症心身障がい者（児）では、「社会福祉施設に入所、または医療機関に入院」の割合（41.8%）が最も高く、次が「家族と同居」（34.1%）となっている。

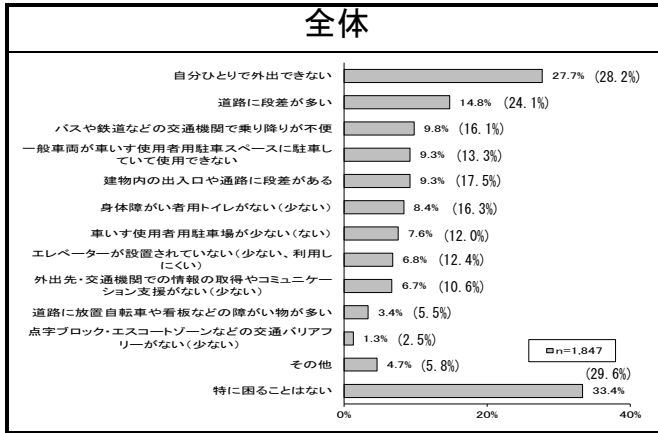


## ○ 外出時に困ること

問 あなた（本人）は外出する時、どんなことに困っていますか。

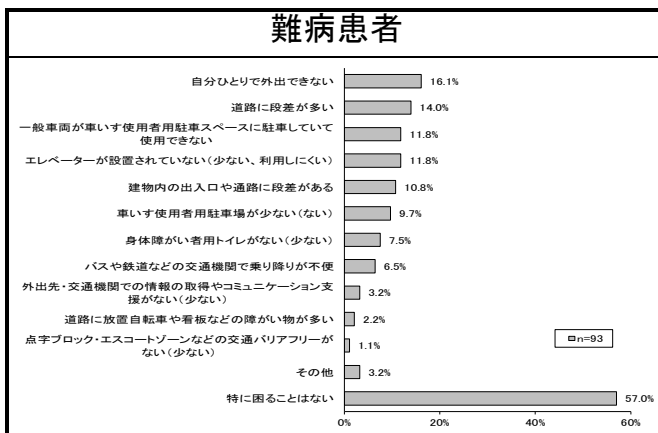
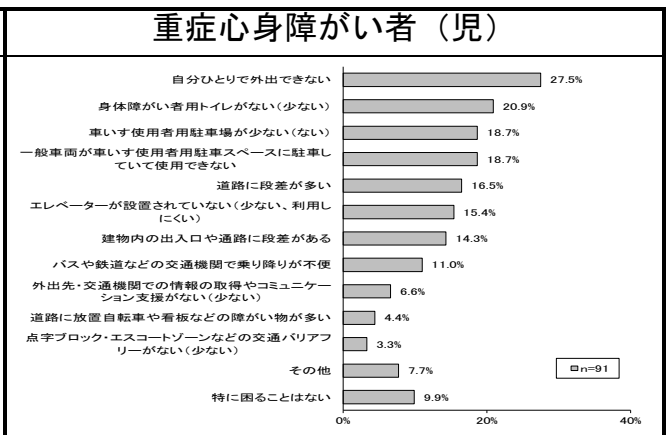
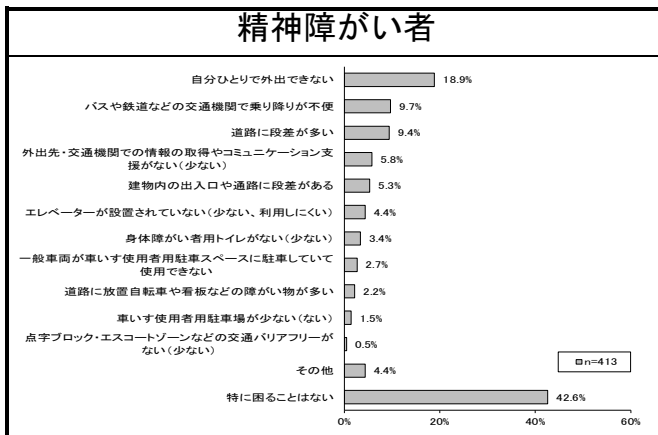
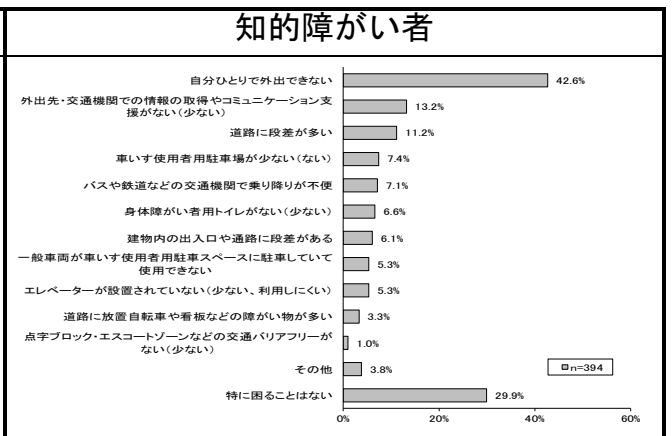
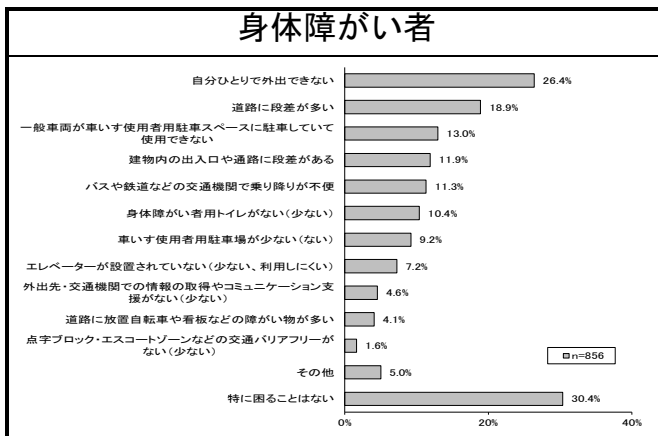
（あてはまるものをすべて選んでください）

### 《 回答概要 》 ※（ ）は前回調査（H30）の数値



○ 全体では、「自分ひとりで外出できない」の割合（27.7%）が最も高く、次が「道路に段差が多い」（14.8%）となっている。  
 なお、「特に困ることはない」は、33.4%となっている。

○ 重症心身障がい者（児）では、「身体障がい者用トイレがない（少ない）」や「車いす使用者用駐車場が少ない（ない）」などの割合も高い。

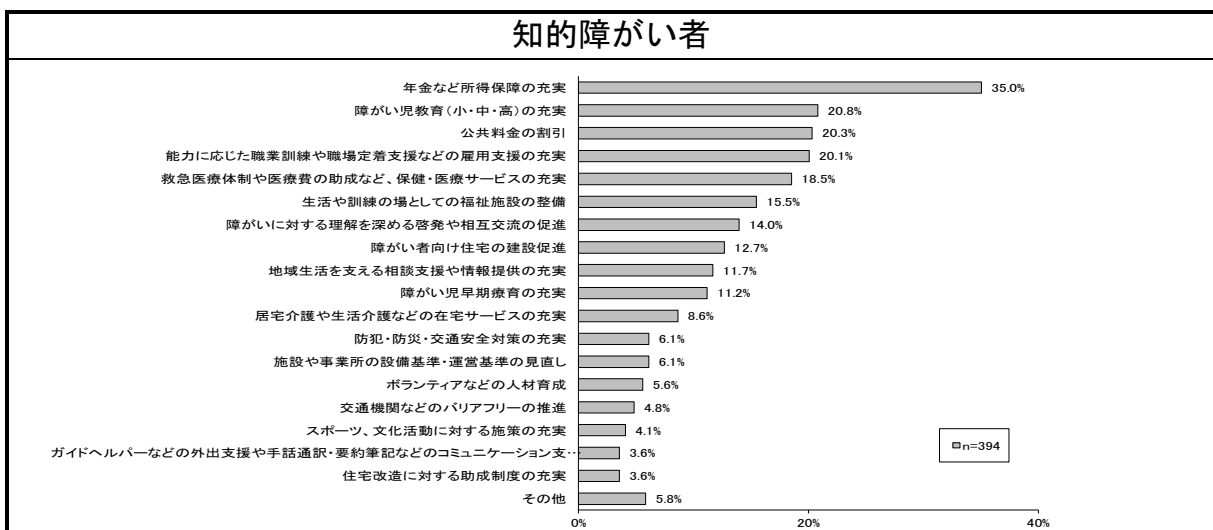
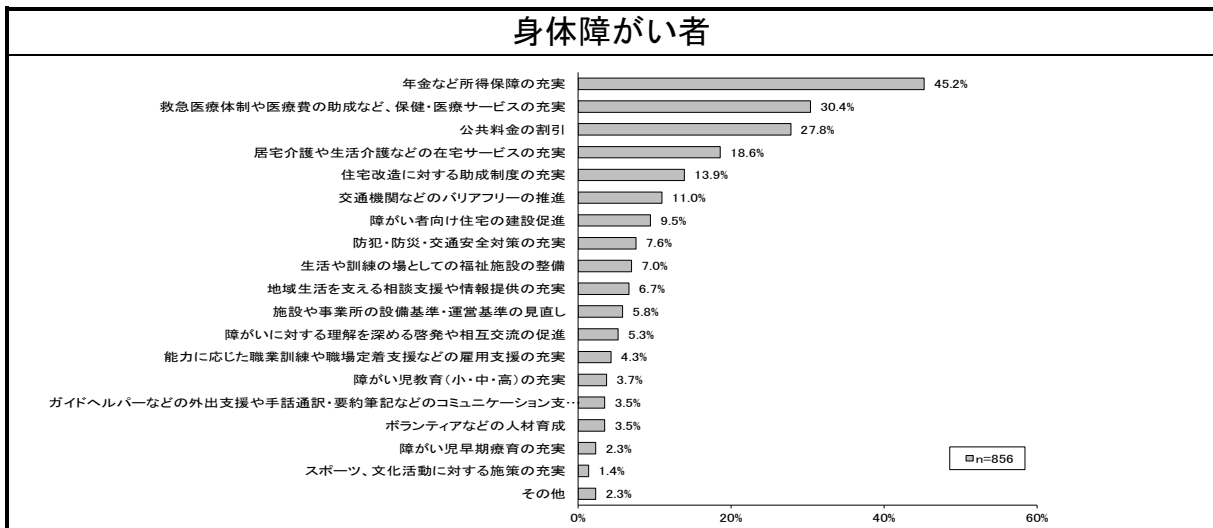
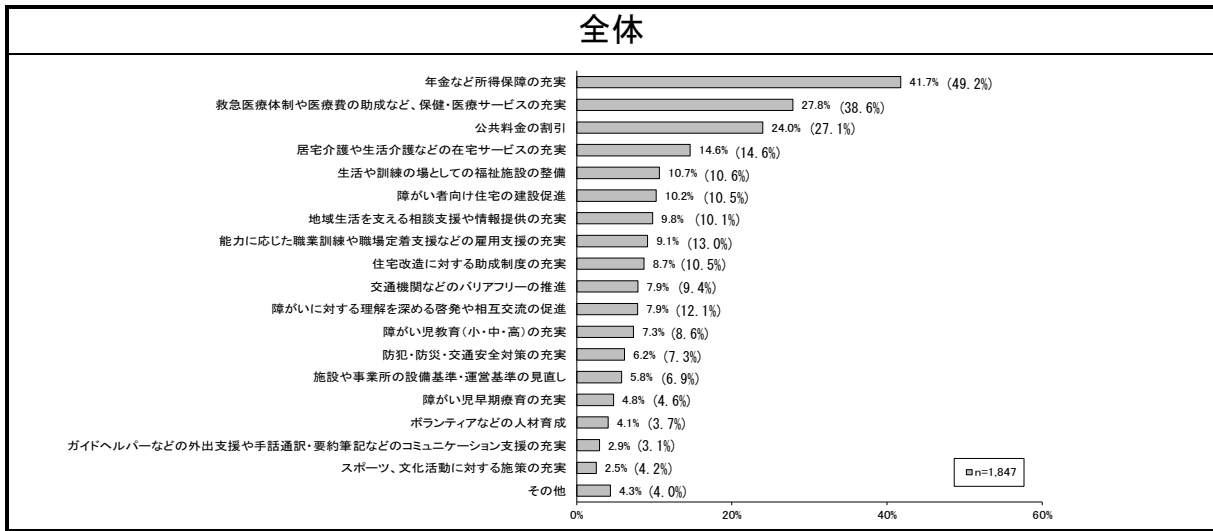




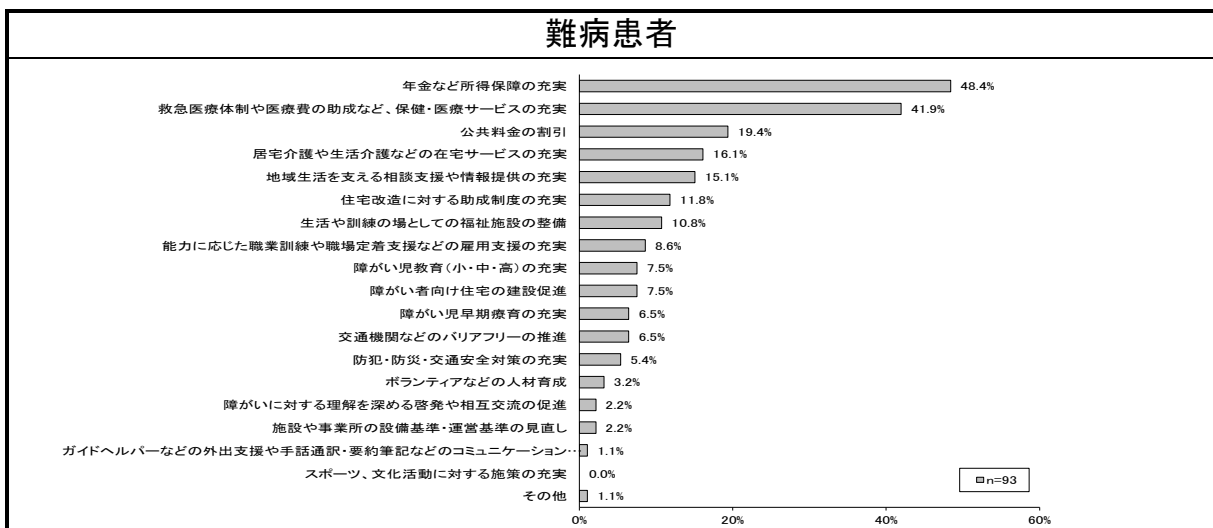
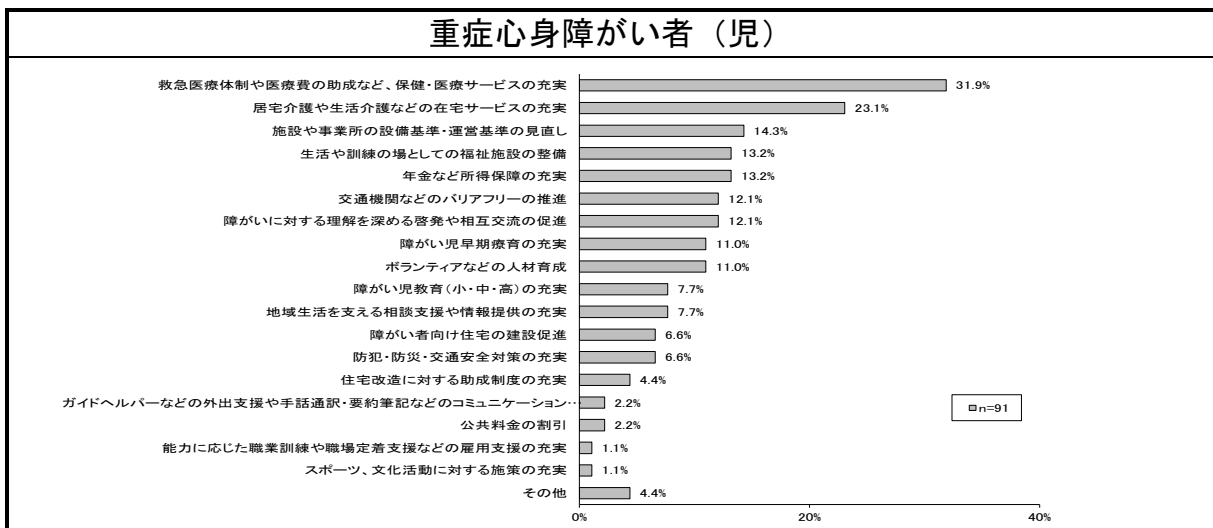
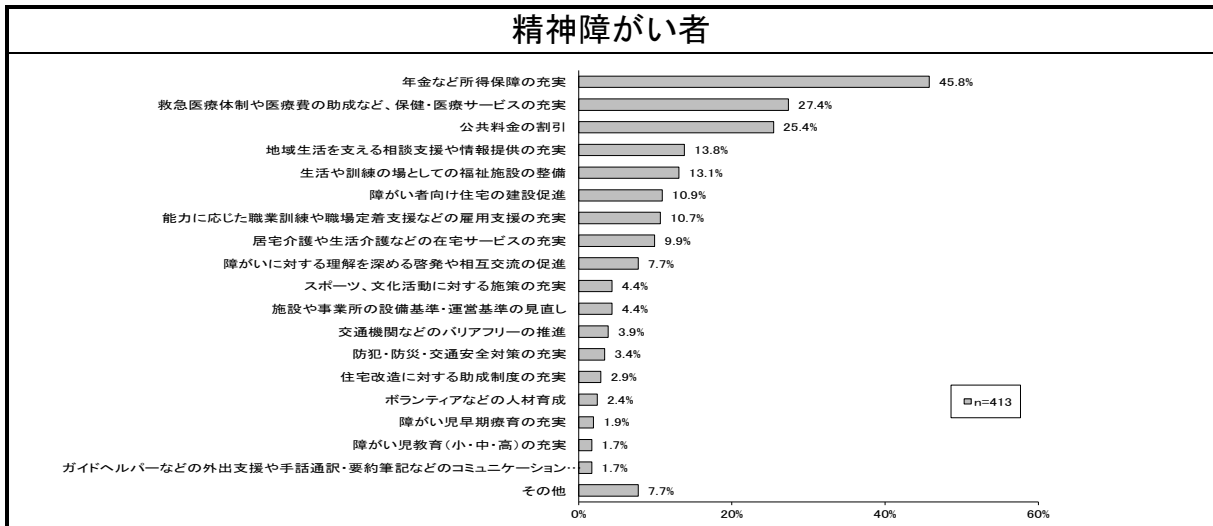
○ 行政に要望する取組

問 あなた（本人）は今後、国や県、市町村の行政にどのような取組を要望しますか。  
（主なものを最大3つまで選んでください）

《 回答概要 》 ※（ ）は前回調査（H30）の数値



○ 行政に要望する取組（つづき）  
《 回答概要 》



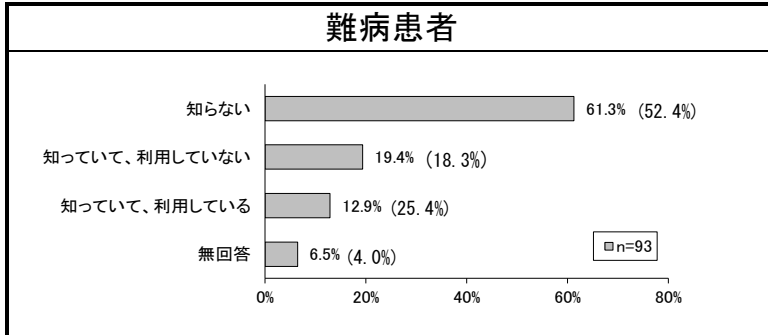
○ 全体では、「年金など所得保障の充実」の割合(41.7%)が最も高く、次に「救急医療体制や医療費の助成など、保健・医療サービスの充実」(27.8%)、「公共料金の割引」(24.0%)などが続いているが、重症心身障がい者（児）では、「救急医療体制や医療費の助成など、保健・医療サービスの充実」の割合(31.9%)が最も高く、次に「居宅介護や生活介護などの在宅サービスの充実」(23.1%)などが続いている。

○ 難病患者の障がい福祉サービス利用

問 あなた（本人）は、難病の方が障害福祉サービスを利用できることを知っていますか。  
また、障害福祉サービスを利用していますか。（1つを選んでください）

1. 知っていて、利用している      2. 知っていて、利用していない      3. 知らない

《 回答概要 》 ※（ ）は前回調査（H30）の数値

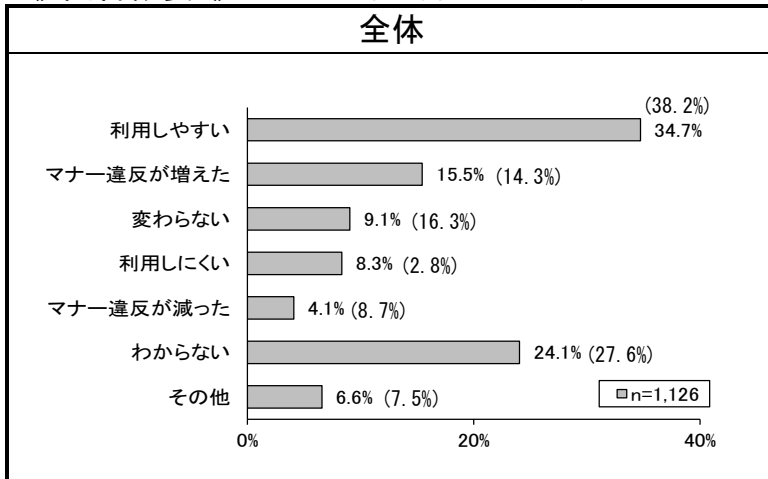


○ 「知らない」の割合(61.3%)が最も高くなっており、前回より8.9%増加している。また、「知っていて、利用している」は12.9%となっており、前回より12.5%減少している。

○ おもいやり駐車場制度の効果（制度を知っている方のみ）

問 おもいやり駐車場制度で身体障がい者用駐車場などの利用はしやすいですか。  
（あてはまるものをすべて選んでください）

《 回答概要 》 ※（ ）は前回調査（H30）の数値



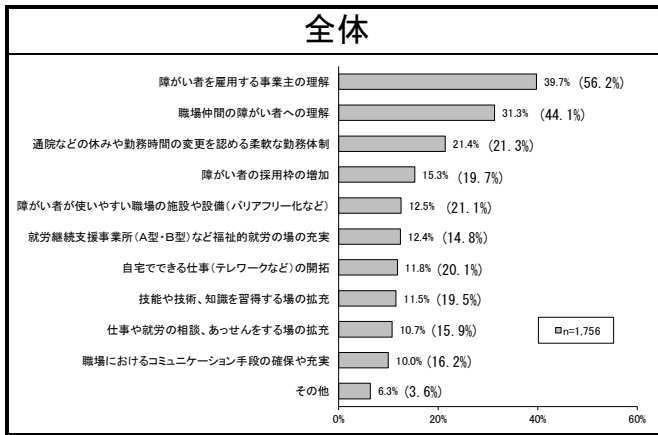
○ 「利用しやすい」の割合(34.7%)が最も高く、次が「マナー違反が増えた」(15.5%)となっている。

○ 「利用しやすい」は前回より3.5%減少し、「マナー違反が増えた」は前回より1.2%増加している。

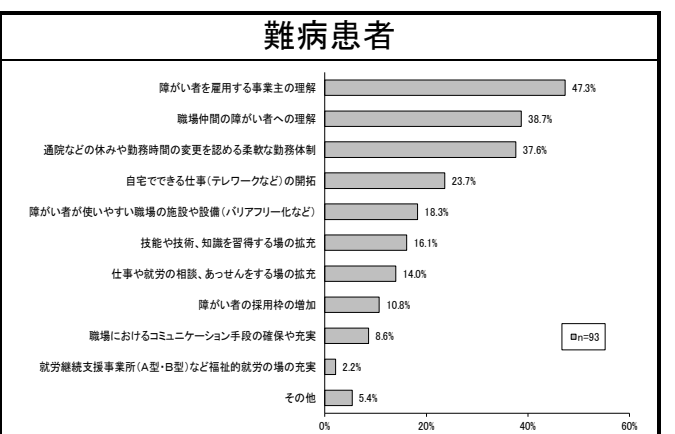
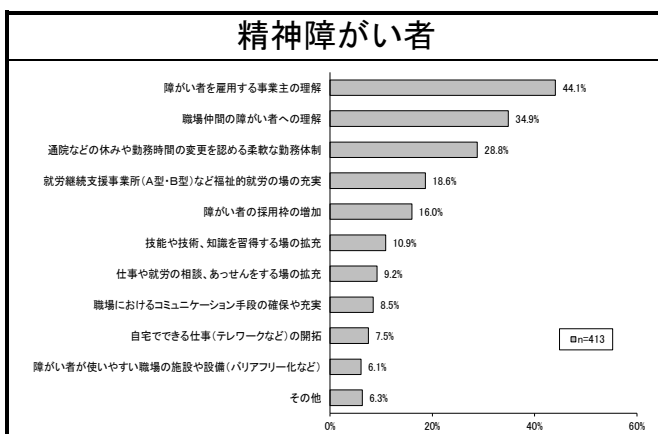
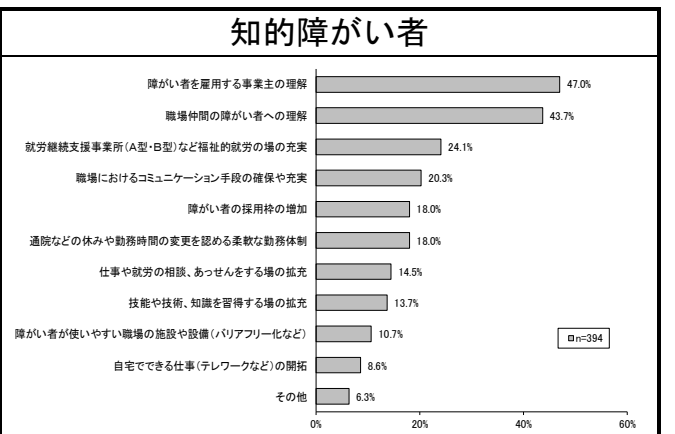
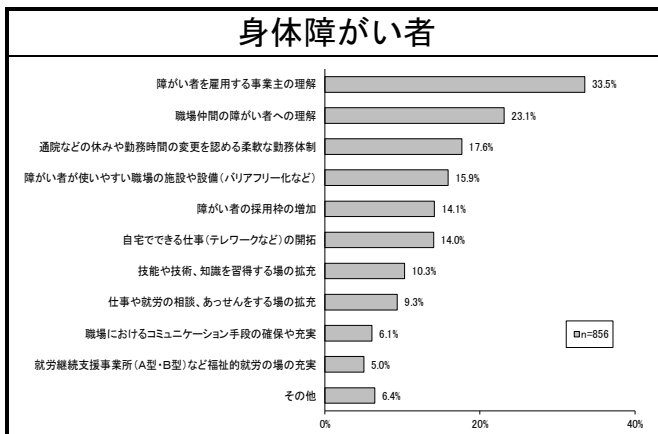
○ 障がい者の就労に必要な環境・条件整備（※重症心身障がい者（児）を除く）

問 あなた（本人）は、障がい者が仕事をするために、どんな環境や条件整備が必要だと思いますか。（主なものを最大3つまで選んでください）

《 回答概要 》※（ ）は前回調査（H30）の数値



○ 各障がい者とも、前回と同様に、「障がい者を雇用する事業主の理解」の割合（39.7%）が最も高くなっており、次が「職場仲間の障がい者への理解」（31.3%）となっている。

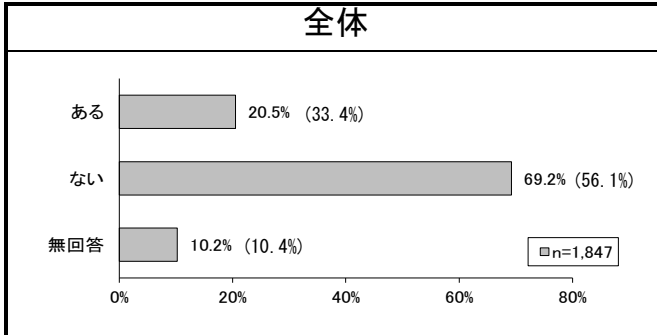


○ 障がいがあることにより不当な扱いや不快感を受けたことの有無

問 あなた（本人）は、これまでに障がいがあることで、不当な扱いを受けたり、いやな思いをしたことがありますか。

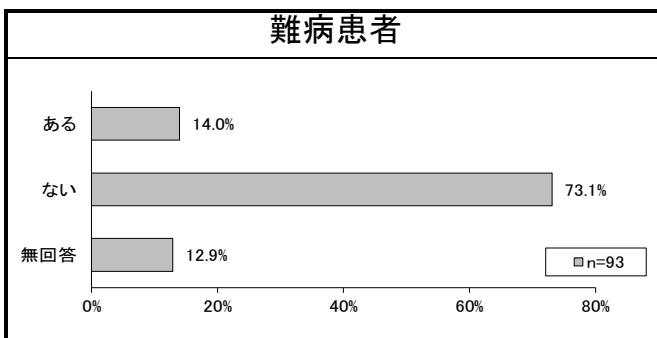
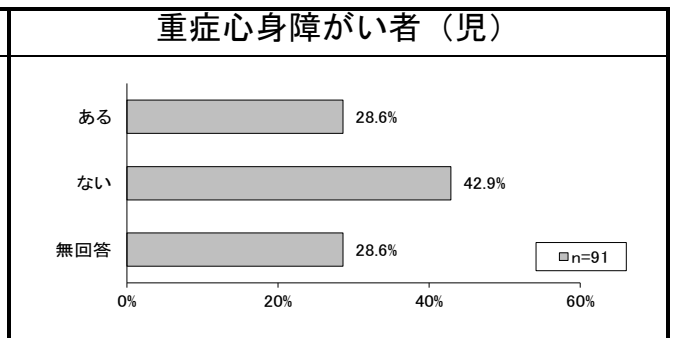
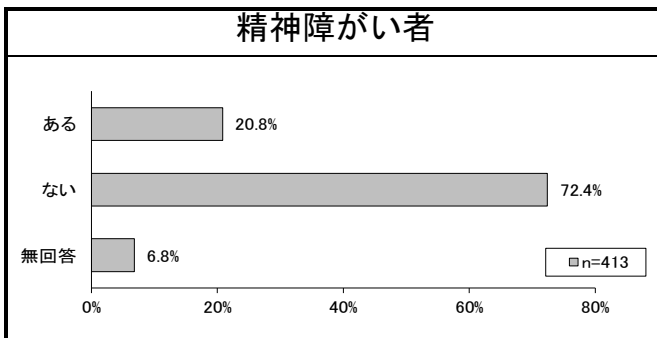
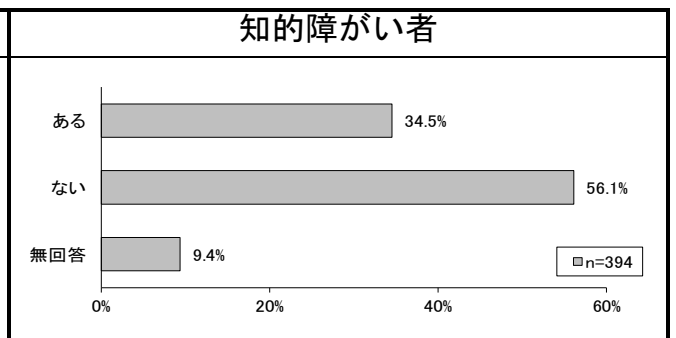
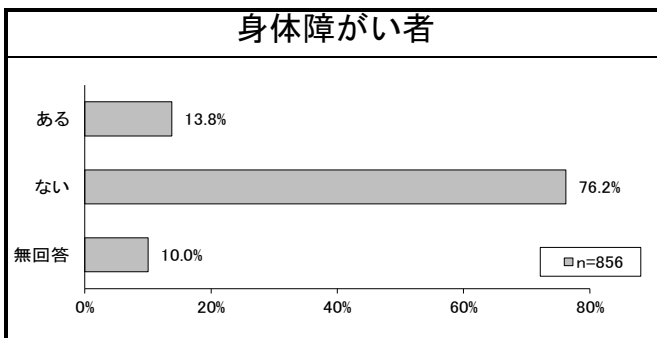
1. ある                      2. ない

《 回答概要 》 ※（ ）は前回調査（H30）の数値



○ 全体では、「ある」の割合は20.5%となっており、前回より12.9%減少している。

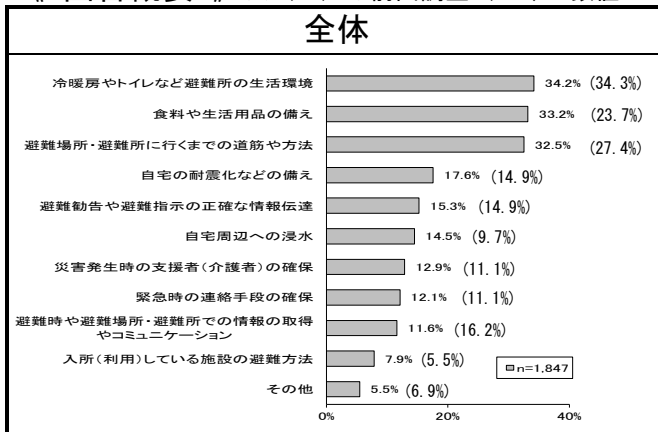
○ 各障がい者のうち、知的障がい者の「ある」の割合（34.5%）が最も高くなっている。



○ 防災対策への不安

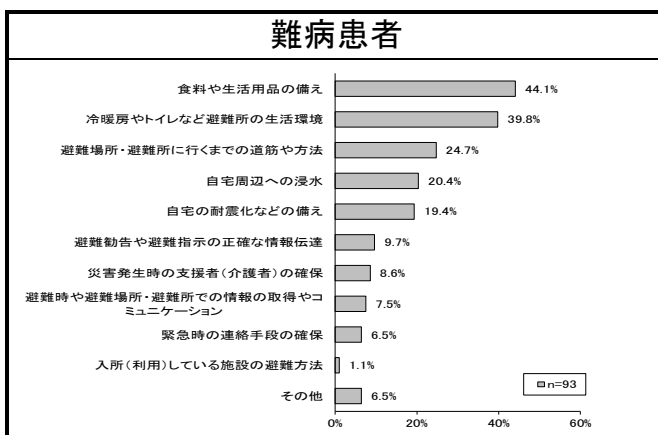
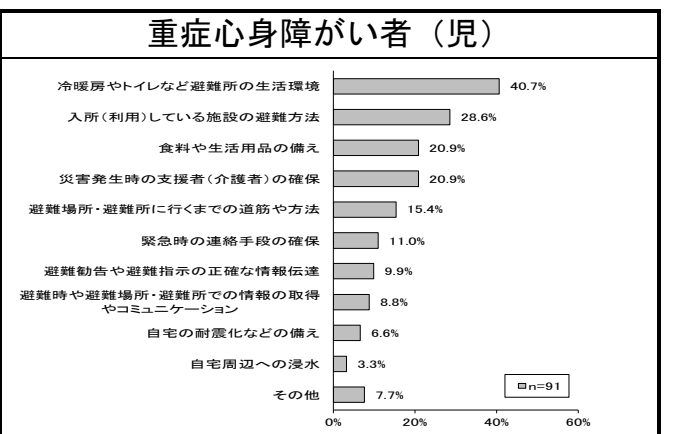
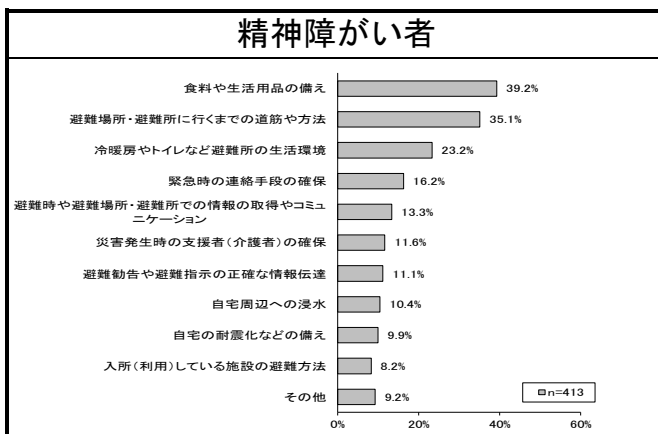
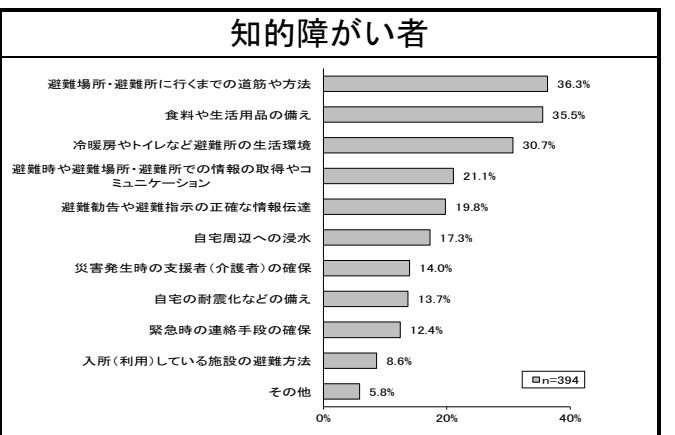
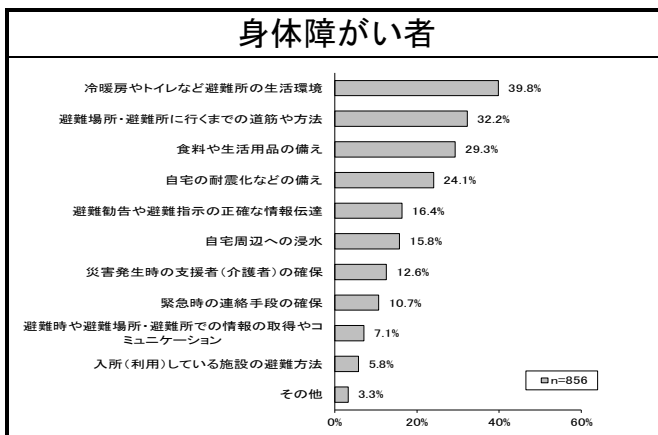
問 あなた（本人）が、防災対策に関して不安を感じる点は何ですか。  
（主なものを最大3つまで選んでください）

《 回答概要 》 ※（ ）は前回調査（H30）の数値



○ 全体では、「冷暖房やトイレなど避難所の生活環境」の割合（34.2%）が最も高く、次に「食料や生活用品の備え」（33.2%）、「避難場所・避難所に行くまでの道筋や方法」（32.5%）などが続いている。

○ 重症心身障がい者（児）では、「入所（利用）している施設の避難方法」（28.6%）の割合も高くなっている。

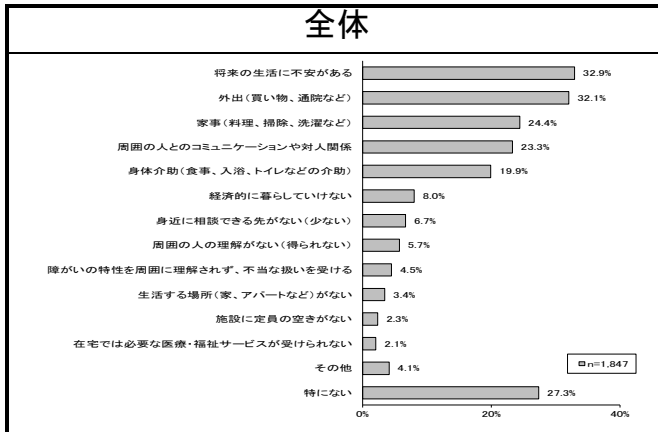


○ 生活において困っていること

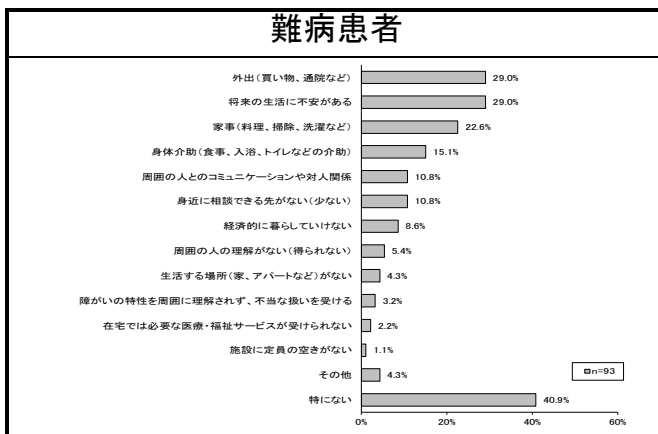
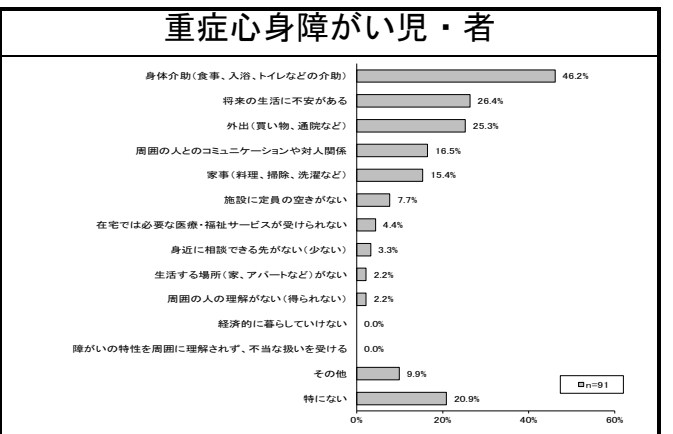
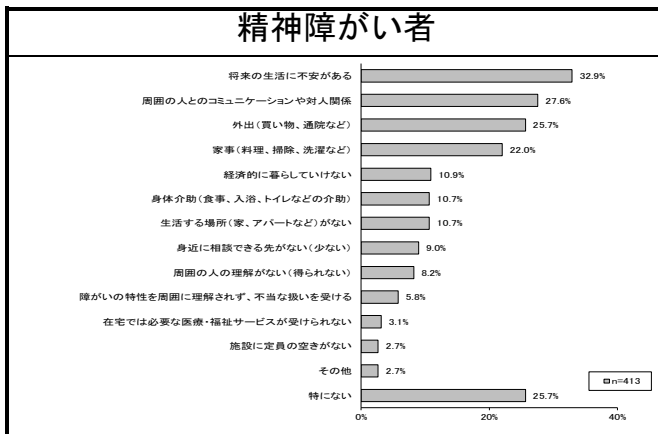
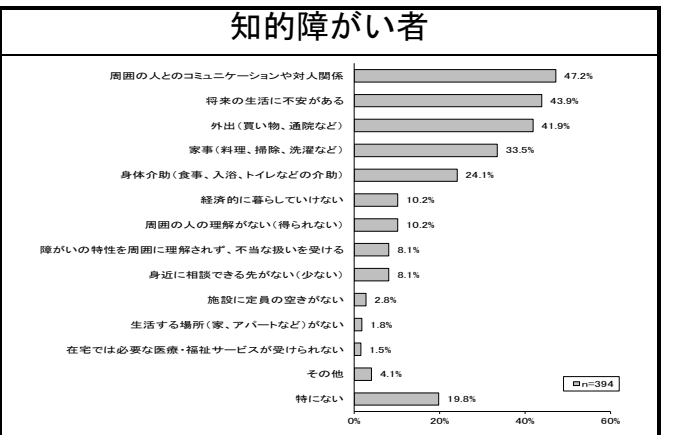
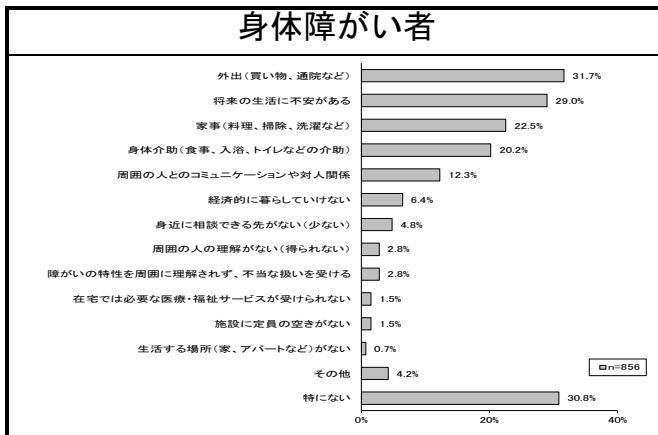
問 あなた（本人）の生活において、お困りのことは何ですか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

《 回答概要 》



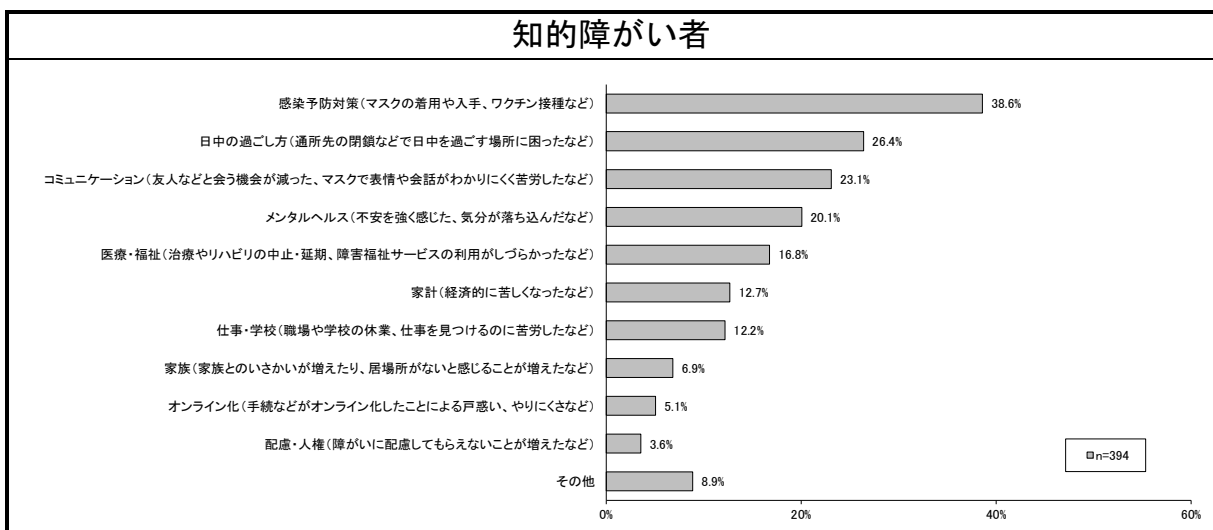
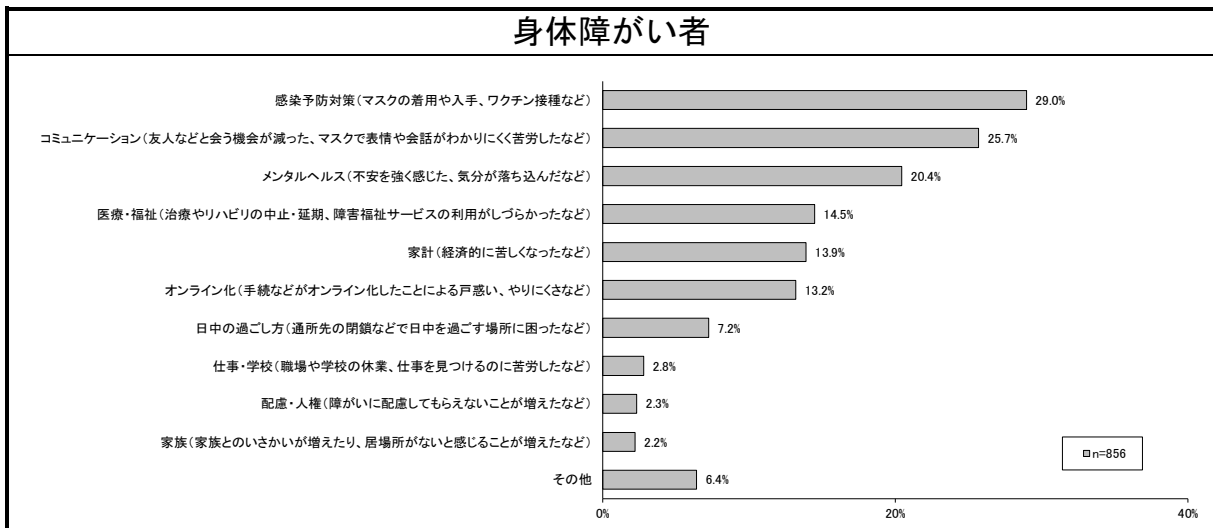
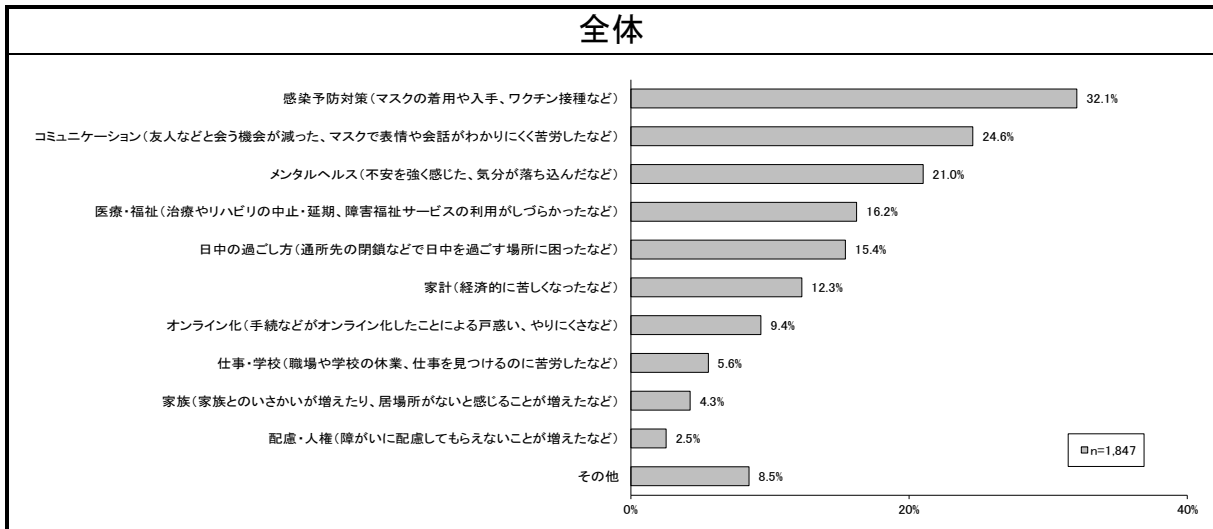
○ 全体では、生活において困っていることは、「将来の生活に不安がある」の割合（32.9%）が最も高く、次に「外出（買い物、通院など）」（32.1%）、「家事（料理、掃除、洗濯など）」（24.4%）、「周囲の人とのコミュニケーションや対人関係」（23.3%）などが続いている。  
 なお、「特になし」は27.3%となっている。



○ 新型コロナウイルス感染症による生活への影響

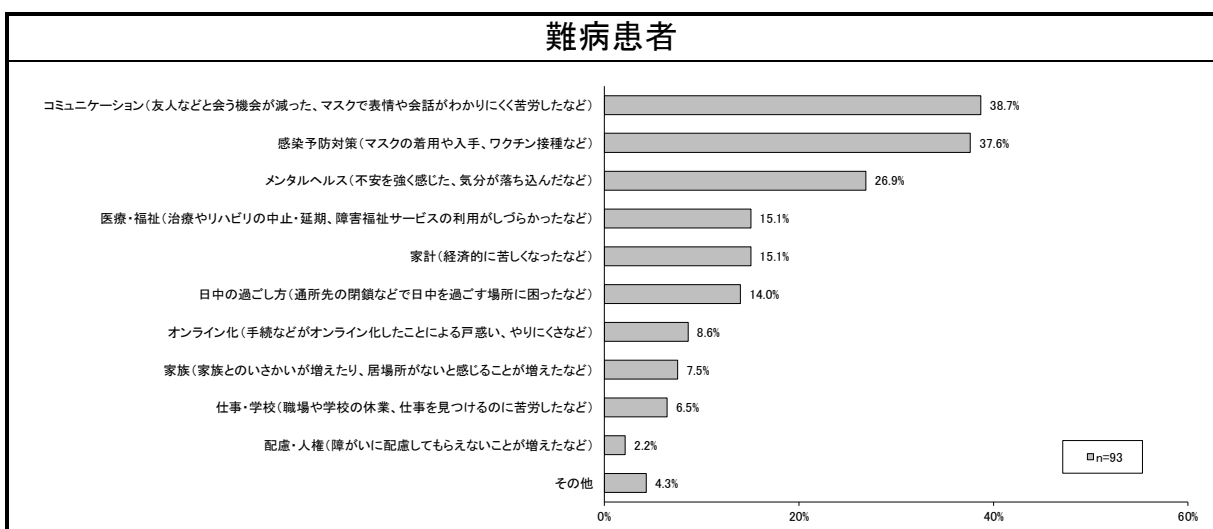
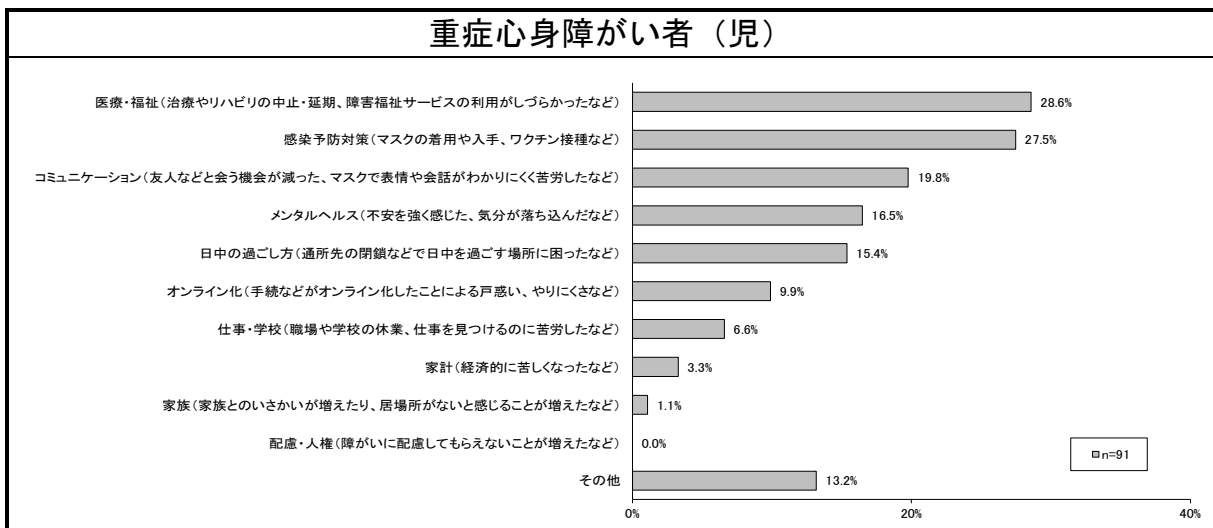
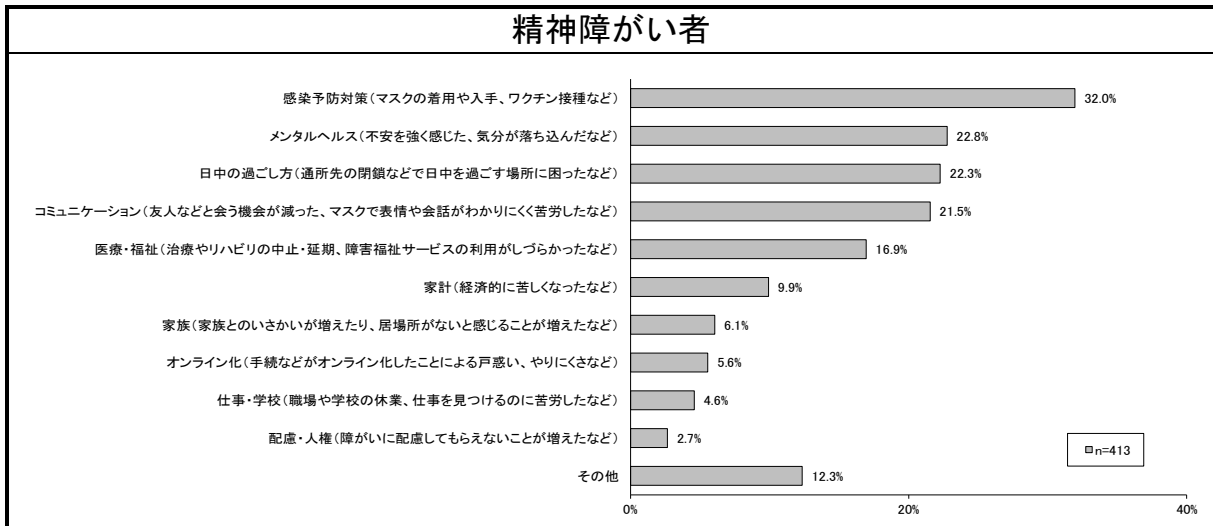
問 あなた（本人）が、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、困ったことは何ですか。（あてはまるものをすべて選んでください）

《 回答概要 》 ※新規





○ 新型コロナウイルス感染症による生活への影響（つづき）  
《 回答概要 》



○ 全体では、「感染予防対策（マスクの着用や入手、ワクチン接種など）の割合（32.1%）が最も高く、次に「コミュニケーション（友人などと会う機会が減った、マスクで表情や会話がわかりにくく苦労したなど）」（24.6%）、「メンタルヘルス（不安を強く感じた、気分が落ち込んだなど）」（21.0%）などが続いているが、重症心身障がい者（児）では、「医療・福祉（治療やリハビリの中止・延期、障害福祉サービスの利用がしづらかったなど）」の割合（28.6%）が最も高くなっている。